2011 年 10 月 31 日

「フランスお返しプロジェクト」本格始動

日仏の友好的パートナーシップに基づいた三陸牡蠣養殖産業の復興支援

フランスに本部を置き世界各国でマイクロファイナンスや小規模事業者支援を行う国際 NGO プラネットファイナンスグループの日本拠点である特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン（東京都、事務局長：田中和夫、以下「プラネットファイナンス」）はこの度、フランス財団による 20 万ユーロの助成金を受託し、東日本大震災で壊滅的な被害を受けた三陸のカキ産地の支援を本格的に始動致します。

フランスからの支援物資　©日本オイスター協会

生ガキを楽しむフランスでは、日本と同様にカキの養殖が盛んです。しかし、1960～70 年代に疫病がはやり、カキが絶滅に瀕する被害を受けました。その際に三陸のカキが持ち込まれ、フランスのカキ養殖業を救ったという歴史があります。その恩返しの意味を込めて、今年 7 月にフランスの漁具メーカー「Mulot」や最大手の運送会社「SDV」、フランスのカキ産地の養殖組合や商工会議所が参加し、ブイやロープなど養殖に必要な約 12 トンの資材をフランスから空輸し、被災した養殖・漁業関係者に手渡しました。この活動がフランス政府及びフランス財団からも注目され、この度 20 万ユーロの公式な支援に繋がりました。

本プロジェクトはプラネットファイナンスが全体コーディネーションを行い、三陸の牡蠣生産者を支援する「復興かきオーナー制度」を運営する株式会社アイリンク（本社：仙台市）と日本オイスター協会が三陸で被災した生産者のニーズを把握し、それに基づいて、牡蠣養殖業の復興に必要な資材等の調達を行います。Mulot 社と SDV 社は引き続きパートナー企業として資材の提供や輸送時の協力を行います。

日仏二国間の友好的なパートナーシップのもと、一日も早い三陸の牡蠣養殖産業の復興に向けて、プラネットファイナンス、フランス政府・財団及び日仏の民間企業が協力して取り組んで参ります。また、フランス財団からの助成金に加えて、フランス、ブルターニュ地方の商工会議所でも 2 万ユーロ以上の寄付が集まりました。プラネットファイナンスでも受付を行っておりますので、三陸の牡蠣養殖産業の復興のために温かいご寄付をお待ちしております。

『フランスお返しプロジェクト』寄付受付窓口
ゆうちょ銀行の振込専用口座
口座番号：00140-7-433351　加入者名：NPO 法人プラネットファイナンスジャパン
注意点：郵便局窓口の振込取扱票を使用する場合は、窓口にて払込手数料受取人の旨をお申し出いただき払込取扱票（赤色）をお受け取りください。郵便局においてあります払込取扱票（青色）を使用すると手数料は依頼人様負担となります。
通信欄に「三陸牡蠣支援義援金」 と必ず記載いただきますようお願いいたします。

■特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパンについて
日本初のマイクロファイナンス支援活動を推進する NPO 法人として 2006 年に設立。国際的な NGO プラネットファイナンスグループ（本部：フランス・パリ）の日本拠点。プラネットファイナンスグループは、マイクロファイナンス（貧困層／小規模事業者向け金融サービス）の発展を通じて貧困削減を目指して、世界 60 カ国でマイクロファイナンス機関の支援活動を実施。東日本大震災を受けて、フランスと日本のラグビーコミュニティを通じた緊急の物資支援「釜石イニシアチブ」など、グローバルなネットワークを通じた支援活動を実施しています。

＜本件に関するお問い合わせ＞　特定非営利活動法人プラネットファイナンスジャパン
Tel: 03-6809-1306　Email: contact@planetfinance.or.jp　担当: 広瀬大地・西郡華子